



自ら動き、感じ、楽しむ  
～笑顔あふれる幼稚園～

NO. 4 令和5年9月22日発行  
山口大学教育学部附属幼稚園  
URL: <http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

### 初めての運動会が楽しく迎えられるように(花組)

花組さんもすっかり幼稚園の生活を思い出して元気いっぱい遊んでいます。登園すると真っ先に花組の畑を見て「先生、トマトが赤い！採っていい？」「オクラなってる！」と自分たちが植えた野菜を収穫する子どもたち。園庭にでると、ブルーベリーやキウイを見つけて「食べていい？」と聞き、食べ物には目がない花組さんです。

初めて大庭に行った日、子どもたちは大庭を見て「広～い」と満面の笑顔で言い、数名の子どもたちが「うあ～！」と元気な声を出しながら走り出しました。それに続くように子どもたちが走り出し何回も繰り返し走りまわりました。走っていると数匹のトンボが飛び回っているのを見つけてAちゃんが「先生、トンボも一緒にヨ～イドン！がしたくなかったみたいだよ。」と言いました。保育者が「本当だ！みんなが楽しく走っているから、トンボさんも一緒にやりたくなかったのかな？」と言うと、Bちゃんが「一緒に走ってあげよう！」と言い、AちゃんもBちゃんもトンボを目掛けて走り出しました。広い場所で風や自然を感じながら体を動かすっていいなと改めて感じる瞬間でもありました。ある日、小学校の運動場に行くフルーツのなる木が現れ、一目散に好きなフルーツへ！当日は、フルーツランドの世界や、パイナップル王子とリンゴ姫に会えるのを楽しみにしてもらえたら嬉しいです。花組さんのかけっこは競争ではなくフルーツを運ぶことや届けることを楽しみながら走りたいたいなと思っています。そして、親子競技も「おべんとうバス」で好きなお弁当の具材を集めに大冒険をしてもらいたいと思います。お楽しみに♡

1学期から、お姫様やプリキュア、パウパトロールやヒーローになりきって曲に合わせて踊るのを楽しんでいる花組さん。先週星組さんが、素敵なお面をつけて、「私たちが考えたダンスを見てください！」と花組さんに見せに来てくれました。星組のダンスを見て「かわいい、すてき～」「私もあのお面つけたい！」「この曲知ってる！」と思い思いの感想を言い、次の日には、早速お面づくりが始まりました。好きなキャラクターのぬりえをしたり、自分の好きなものを描いたりしたものをお面にしました。お面ができると、遊びの中で何度も踊ったり、「私は見るだけ。」と言っていた子どもも、少しずつジャンプをしたり、体を揺らしてみたりと自然と踊り出さなくなっていました。みんなのお気に入り、空を飛びたいな！と大きく手を広げての飛行機のポーズと、両手を挙げてジャンプするところです。

運動会までに子どもたちが楽しんできたことを大事にしながら、安心して当日を迎えられるようにと競技を考えています。当日は普段とは全



く違う雰囲気緊張したり不安になったりすることもあるかもしれませんが、その姿も成長の過程ととらえながら運動会がどの子どもたちにとってもいい日でありますよう、温かく見守ってくださればと思っています。よろしく願いいたします。(尾川)

### ドキドキ！ワクワク！運動会♪(風組)

新しく1名の仲間が加わり30人になって2学期が始まった風組さん。始業式の日、ここに笑顔で「おはようございます！」と登園してきた姿が印象的でした。「夏休みは旅行に行ったんだよ。」「おじいちゃんおばあちゃんのお家に行ったよ。」「先生に会えるの楽しみにしていたよ。」とたくさん話してくれました。夏休みの間に、心も体も大きくなって何だかお兄さんお姉さんになった姿に、この時期の1ヶ月の成長ってすごいなと感じました。夏休み楽しかった話をたくさん聞いたあとに「2学期には運動会があるんだよ。」と伝えると、「えっ！運動会！？やったー！」と大盛り上がり。身体測定の日、体操服に着替えたときに「運動会のときはこの体操服を着て走るんだよ。」と伝えると、「やったー！楽しみだね！」「速く走れそう！」と体を動かすことが楽しみになったり、運動会の期待が高まったりして感じました。

小学校の運動場に行くことを伝えると、「やったー！今日は運動会なの？」「早く片付けなきゃ！」「お弁当早く食べよっと！」とワクワクがあふれ出す子どもたち。運動場に着くと、広い広い運動場に開放的な気分になり、「うわー！！」と次々にみんなが広いグラウンドに引き込まれるように走り出しました。心惹かれるままに体が動いて素敵なお姿だと思いました。まずは「先生のところまで走って見よう。」と何度か走ったあと、かけっこのように4人ずつ並んで走ってみました。名前を呼ばれて返事をし、スタート位置に並ぶと、隣のAくん「一緒に頑張ろうね！」と声をかけるBくん。「うん。頑張ろうね！」と答えるAくん。「速く走れなかった。」と落ち込むCちゃんに「どうしたん？大丈夫？」と優しく寄り添うDちゃん。自然とそんな声をかけ合う姿に、とても微笑ましく心が温かくなりました。

星組さんが『ドキメキダイアリー』の曲に合わせて振りを考えてくれました。キラキラボンボンを持ち、お面をつけて踊る星組さんに憧れのまなざしの子どもたち。「星組さんがダンス教えてくれるって。」の声に、「私も踊りたい！」「僕も踊るー！」とほとんどの子どもたちが星組さんの元へ集まりました。「恥ずかしいから踊らないよ。」と言うEくんとFちゃんも、当日つけて踊るお面は一生懸命飾りつけたり、色を塗ったりして作りました。子どもたち一人一人の運動会を楽しみにしている気持ちを大切にしたいなと感じました。

運動会までの間、競技に使う虫やダンスに必要なお面を作ったり、小学校に行ってみんなで走ったり、ステージで踊ったりして、遊びの中で楽しんだことが、運動会につながっていくようにと願い、取り組んできました。運動会当日は、いつもと違いたくさんのおうちの人から見られるため、子どもたちにとってはドキドキな一日になると思います。楽しんでいる姿も、恥ずかしがっていつもとは違う姿も、温かく見守っていただければと思います。子どもたちの思い出に残る運動会となりますように☆

### やってみよう！自分の力を信じて、友達と(星組)

夏休み明け、久しぶりに友達に会えたことが嬉しく、あちらこちらで休



み中の思い出話が盛り上がっていました。様々な体験をして心も体も大きくなって登園してきた子どもたちの“やる気いっぱい！”の気持ちを大事にしていきたいと思い、鉄棒や跳び箱など運動遊具に挑戦する場を継続して設けてきました。“できるようにになりたい”という思いから繰り返し挑戦する姿や友達同士でコツを伝え合う姿が見られ、「できた！」の弾んだ声が次第に多く聞こえるようになりました。運動遊具に対して苦手意識がある子どももいましたが、友達が楽しそうに取り組む姿や頑張ってきたことを喜び合う姿を間近で見ること、次第に“ぼく、わたしもやってみようかな”という気持ちになっていく様子でした。それでもなかなか思うようにできず、悔しい思いやもどかしい思いをいっぱい表現する姿もありました。それだけ“できるようにになりたい”という思いが強くなるのだなとそんな気持ちに思わず応援や励ましの声が熱くなります。子どもたち同士でも「惜しい！」「あと少しできそうだよ。」「もう少し手が前だよ。」「床をサッカーみたいに強く蹴ると足が上に上がるんだよ。」など…前向きで具体的な励ましやアドバイスの声が飛び交い、挑戦する気持ちがクラス全体で高まっていくと感じました。互いにできるようになったことを喜び合い、認め合える関係に友達関係の深まりも感じます。できるようになることはもちろん嬉しいことですが、それまで諦めずに何度も何度もやろうとするその気持ちや姿こそが大事ですね。“やればできる”“ぼく、わたしならできる”そんな自信をこれからも育てていきたい、つなげていきたいと思います。

運動会の全園児ダンス『ドキメキダイアリー』は、人気アニメ主題歌ということもあり、1学期から親しんできた子どもたちの好きな曲の一つです。はじめは、曲をかけるとそれぞれに体を動かして踊っていた子どもたちですが、その踊りを見ていたAくんが「なんだか曲と踊りが合っていない。」とポツリと一言。その一言をクラスでの集い時に話題にし、「どんな踊りがいいと思う？」とみんな考えてみることにしました。するとBちゃんから「歌の言葉(歌詞)に合わせて動き(振り)を考えるのはどうかな？」と提案がありました。「いいね！それ！」「分かりやすい！」と賛成の声も多く、翌日登園するとさっそくCDデッキの周りに数人の子どもたちが集まっていました。何度も曲をかけながら「こんなのはどう？」と踊って見せたり、紙とペンを持ち寄って「みんなが分かるように踊り方を絵にしよう。」と振付の絵を描いたり、互いのイメージを伝え合いながら少しずつ振りを決めていく姿がありました。自分たちで考えた思い入れいっぱいのダンスを星組のみんなと踊り、そんな星組の姿を見て興味をもっていた風組や花組の子どもたちにも披露してみんなで楽しんできたダンスです。より楽しく踊れるようにと考えて作った一人一人のアイデア溢れる手作りお面にもご注目ください。



子どもたちは、自分なりの目標をもって挑戦したり、友達と一緒に楽しんだり力を合わせたりしながら運動会に向けて気持ちを高めています。星組さんにとっては、幼稚園生活最後の運動会です。当日は緊張もあるかもしれませんが、一人一人がこれまで繰り返し諦めずに取り組んできた気持ちをしっかり認め、温かい目で見守っていただけたらと思います。また、星組の子どもたちならではの友達同士で力を合わせる姿、励まし合い自分たちで乗り越えようとする姿にもご注目ください。保護者の皆様の応援が子どもたちのパワーになります。当日は大きな拍手、温かい声援をどうぞよろしくお願いいたします。(中野祐)